



特集 1

＊ “学び”を通じて、人生を豊かに 地域コミュニティをより良く

生涯学習特集

武蔵野市には、たくさんの生涯学習の機会があることを知っていますか？

生涯学習といっても、学ぶ内容や参加方法もさまざまです。

皆さんに合う学びの形もきっと見つかるはずです。

この夏、自由な学びを始めてみませんか！

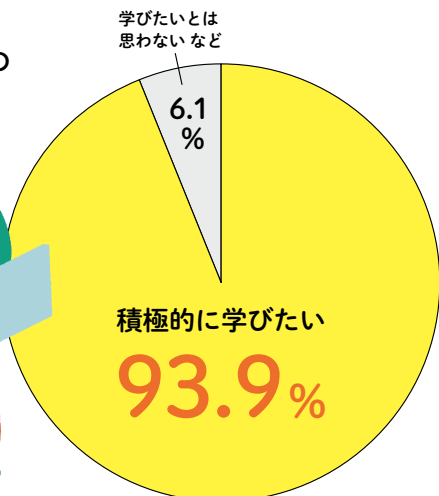


キーワードは“学びおくりあい”

「学びおくり」とは、学んだことを他者、地域、コミュニティ、社会、あるいは次の世代へ「おくる」ことを意味しています。生涯学習に関するアンケートを基に、市民の生涯学習に対する意識と市の取り組みをご紹介します。

市民の学ぶ意欲が高い！

市民の
学びへの
関心



令和6年度実施の市民アンケートでは、積極的に学びたい人は93.9%。過去1年間で何かを自分から学んだことのある人は56.2%で、そのうち98.8%の人がこれからも学び続けたいと回答。学びへの意欲の高さがうかがえます。

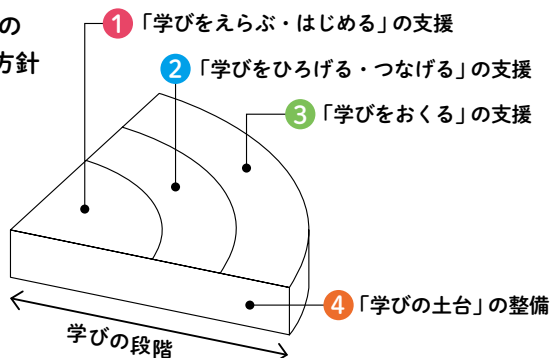
学びの大前提は「学ぶ人の人生を豊かにする」こと。生き方が多様化する「人生100年時代」、それぞれのライフスタイルに応じた学びは人生を豊かにします。市では、市内・近隣五大学が連携した事業、文化施設やスポーツ施設といった生涯学習施設を有効に活用した事業など、幅広いテーマで学ぶことができます。

生涯学習情報誌を配布中（7ページ）

参考：「武蔵野市生涯学習に関する調査報告書」（令和6年度）

さらに学びをシェアすることで、自分も社会も豊かになる 「学びのおすそわけプロジェクト」が始まりました

基本理念の
実現のための
4つの基本方針
体系図



第二期武蔵野市生涯学習計画の基本理念は「学びおくりあい、わたしたちがつくるまち」。この理念は、個人の学びが自然にかつ自発的に他者や社会とつながっていくさまを表現しています。こんな思いを込めて「学びのおすそわけプロジェクト」が始まりました。



第二期武蔵野市
生涯学習計画

詳細は6ページ

あなたの学びについて教えてください

「わたしの学び」インタビュー

生涯学習活動をしている皆さんに“学び”について聞きました。始めたきっかけや、その学び方は人によってさまざま。ここから、新たな学びのヒントが見つかるかもしれません。



中村 哲さん

大学の理系学部2年生。小学生のときの夢は物理学者になること。小学5・6年生で土曜学校サイエンスクラブに参加。大学生となって武蔵野市を離れた今も、学生サポーターとしてサイエンスクラブに関わっている。

民間の実験教室に参加して「もっとやってみたい」と思っていたんです。小学校で配られたサイエンスクラブのチラシを見て「これだ!」とすぐに応募しました。



サイエンスクラブでは子どもたちがより興味・関心を持てるようにサポート

知的好奇心を刺激されたサイエンスクラブ 今は教える側に

小学5・6年生のときに土曜学校サイエンスクラブ(以下、サイエンスクラブ)に参加しました。さまざまな実験や研究が用意されていた中で、特に印象深かったのがテルミット反応の実験。「酸化鉄とアルミニウム粉末を混ぜて点火すると酸化還元反応が起きて鉄が生成される」というもので、反応中に出る炎に色を着けられないか試してみることに。難しい実験でしたが、講師の発案による意欲的な実験でした。また年に一度開催されるサイエンスフェスタでは、教える側として紙コップタワーづくりを担当。初めてのことに挑戦し、来場者に披露するのはワクワクする体験でした。

知のものを探求します。みんなで見つけようまくいく方法が共有することもできる。知的好奇心が刺激され、さらなる探求心が養われました。また他校の参加者や、講師の先生との出会いもありました。

サイエンスクラブは、身の回りの事象について関心を高め、研究に昇華させることのできるかけがえのない時間。学校での実験はあらかじめ目標や手順が決められています。サイエンスクラブでは参加者が互いに話し合いながら未

中学生からは学生サポーターとして教える側になりました。「子どもたちが行き詰まったとき、どんなアドバイスをすればそれを自力で突破できるか」を考えながら指導し、教える楽しさも味わっています。世の中には知っているようで知らないことも多く、小学生に身近なものの中に実験や研究の対象はたくさんあります。私が体験したことを子どもたちにも体験してもらい、研究に興味を持つきっかけをつくりたい。そしてサイエンスクラブのOB・OGが次の学生サポーターになってくれるといいなと思います。

PICK UP

土曜学校サイエンスクラブ

科学への興味や知識を深めてもらう講座。学校ではできない理科の研究・実験を分かりやすく、楽しみながら体験します。小学5年生～中学1年生が対象で、約10回の連続講座。サイエンスフェスタでは学んだ実験を来場者に教え、まさに「学びおくりあい」を実践。



サイエンスフェスタ

金沢に旅行した時に水引細工の小物を見て、そのかわいさに魅了されました。自分で作ってみたいと思い、キットを買って帰ったのがはまったきっかけです。



福井みやびさん

令和7年度PTA会長。趣味の水引細工や着付けは独学。令和7年のPTAフェスティバルでは、水引でアクセサリやキーホルダーなどを作るワークショップを初めて開催した。



ワークショップでは水引のストラップやブックマーカー作りを企画

YouTubeで学んだ水引細工 ワークショップで学びをおすすめわけ

手芸が好きで、いろんなものを作

りしてきました。何かを学ぼうと

すると教室などで先生の指導を受け

るのが一般的です。でも、家事や介

護などがあり、決まった日時に教室

に通うのが難しい私には、YouTube

が最適。多様なチャンネルから自分

に合ったものを選べるし、分らない

ければ繰り返し視聴できます。水引

細工もYouTubeで学びました。家

事しながらYouTubeを流し見し

てやり方を頭に入れ、その後実作す

るという方法で習得していったん

です。

独自の結び方やデザインを楽しめ

るようになった頃、市PTA連絡協

議会会長から「PTAフェスティバ

ルで水引のワークショップをやって

くれないか」と打診されました。は

じめは「ちゃんとした先生でもない

し」と尻込みしていました。でも折

り紙やあやとりだって、継承してき

たのは名もない人たちです。だっ

たら私が教えてもいいんじゃないかと

思い直し、引き受けることにしたの

です。

フェスティバル当日は作

品を展示するのみ、ワーク

ショップは事前に行うこと

になって、準備に追われました。

小学校低学年向けには簡単にできる

ストラップを、高学年向けには少し

根気のいるブックマーカーを作るこ

とに。娘を相手に練習を重ねて臨み

ました。参加者はみんな楽しんでく

れて、完成すると喜んでスマホに

付ける子も。作品を見た方からは

「ワークショップに参加したかった」

という声も聞かれました。人に教え

ることの難しさを痛感しましたが、

充実感でいっぱいです。

資格や肩書がなくて躊躇ちゆうちゆうしている

方もいると思いますが、チャンスが

あれば一歩踏み出してみてもどうで

しょうか。私の座右の銘は「為せば

成る 為さねば成らぬ何事も」(上杉

鷹山)。学びも「学びのおすすわけ」

も、やろうと思えばできないこと

はないと思います。

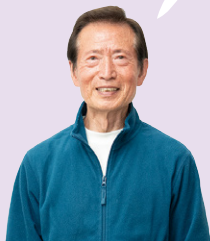
PICK UP

PTAフェスティバル

市立小・中学校18校のPTAが集まり、コーラスやダンスなどを披露する交流の場。毎年12月の第1日曜日に開催。



以前は会社を経営していました。65歳になった時に妻から「これからの時間はあなたの楽しみのために使ってほしい」と、自由大学のチラシを渡されたのがきっかけです。



三浦勝男さん

平成24年、武蔵野地域自由大学に入学。令和6年度市民博士号を授与され、自由大学称号記授与式に参加した。日課は勉強のほか、毎日5~10キロメートルのランニングも。



授与式では、自由大学学長の乃南アサさんから市民博士号を授与された



講義の資料

新しい知識と出会い 知りたかったことを知るの大きな喜び

私の学生時代は学生運動全盛期で、学校へ行っても休講ばかり。勉強はほとんどできませんでした。65歳で武蔵野地域自由大学（以下、自由大学）の存在を知り、「昔勉強できなかった分を取り戻すチャンスだ」と受講を決めました。時間は人を待つてはくれません。思い立った時に、すぐに実行しないといけないという思いがあったのです。

それから14年、大学時代に専攻していた英米文学を中心に学び続けています。とはいえ、学びの仕組みがデジタル化していて、戸惑ったことも。はじめは履修登録の方法も分かりませんでした。勇気を出して若いクラスメートに聞くと、登録の手順を分かりやすく書いて教えてくれました。教えを請うのに年齢は関係ありませんね。クラスメートとの交流も、自由大学生の特権のひとつです。コロナ禍でのオンライン授業にも苦労しました。悪戦苦闘してようやくZoomに入れたのに、今度はWi-Fiが切れてしまう——そんなことを繰

り返すうちに授業が終わったこともあり。その時は必死でしたが、振り返るとすべてが得難い経験です。私にとって、毎日がチャレンジ。新しい知識と出会い、知りたかったことを学べるの大きな喜びです。「歳だから」は禁句。何もしないと後退するばかり、脳は使えば使うほど良くなるのです。毎日勉強しないのならやめた方がいいと、自分を叱咤激励しています。ランニングやラジオ体操も欠かせません。学び続けることができるのも、健康という土台があつてこそですから。

一昨年には市民博士の称号もいただきました。目指していたわけではありませんでしたが、頑張りが認められたことは励みになりました。私を見て、「自分もやってみよう」という人がいれば大成功。まだ自由大学を知らない人には、市にこんなゼいたくなく学びの環境があることを伝えたい。そして、学びの仲間を増やしていきたいですね。

PICK UP

武蔵野地域自由大学

武蔵野市と地域の五大学が連携して、高度で継続的、体系的な生涯学習の機会を提供する学習空間（仮想大学）。五大学のキャンパスと武蔵野市全域を学習スペースとしています。卒業はなく、期間を気にせずマイペースで学習できます。

学びのおすそわけプロジェクト



生涯学習は幅広く、自由！ 補助金を使って、あんなことやこんなこと、
楽しい企画で学びのおすそわけをしませんか。

健康や美容に良い
麹を使ったレシピ
で料理教室ができ
たら面白そう。



有名な芸術家を
招いて、アート
作品を創作する
ワークショップ
を開催したい。



音楽好きが集まっ
て楽器を練習し、
コンサートで演奏。
たくさんの人に聴
いてもらいたい。



みんなの学びをサポート

生涯学習への補助金制度が充実！

今年、生涯学習に関する新たな補助金制度を始めるとともに、既存の制
度もリニューアル。より手軽に、より自由にさまざまな学びをシェアし
ていただくための制度、ぜひ活用ください！



New

学びおくりあい補助金

【上限】5万円 【申込順】

【申請期間】6月19日(金)午前9時～7月15日(水)午後5時(必着)

簡単申請！気軽に自分の学びをシェアできる
新たな補助金制度です。学びをシェアするた
めのさまざまな企画に利用できます。

【対象】主に市内で活動する個人または団体

【申請】WEB

【支払い】事業実施後の精算払い

〈利用の流れ〉

添付書類の作成

WEB申請

書類審査

結果通知

事業実施

実施報告・請求

Renewal

生涯学習・子ども体験事業補助金 ※今年度の申請は締め切りました

団体向けの既存の補助金制度をリニューアルしました。

【対象】主に市内で活動する団体 【申請】書類(プレゼンテーションあり)

【上限】20万円 【支払い】事業実施前の概算払い



補助金制度
の詳細



説明動画

あなたの「学びたい」が見つかるかも！

生涯学習情報誌を配布中

(各図書館・市政センター・コミュニティセンターなど)



1 小・中学生の
講座まるごとナビ



2 大人のための
生涯学習ガイド



学びはもっと 自由でいい

学びおくりあい交流会を 開催しました！

令和8年3月27日に生涯学習や子ども体験事業などの補助金交付団体による、事業報告と情報交換を行う交流会「学びおくりあい交流会」を開催しました。事業報告では、事業を実施してよかったことや苦労したこと、ほかの団体に聞きたいことなどを発表。情報交換では、事業を運営する上で工夫したことや、多くの方を集めるための具体的な広報手段など、今後の団体活動に役立つ情報が飛び交い、「学びおくりあい」の機会となりました。



たくさんの意見
交換が行われ、
有意義な時間と
なりました



新しく生まれ変わった
補助金を使って、
地域を盛り上げて
ください！



社会教育委員の会議
議長
辻本昭彦さん

これまでも生涯学習事業に対する補助金制度はありましたが、上限額が50万円と高く、大きな団体が行う大きなプロジェクトというイメージ。また、手続きが大変で申請を諦めたという声もありました。そこで、2年間かけて補助金制度を見直し、もっと気軽に皆さんの学びに生かせる制度へと改善しました。特に「学びおくりあい補助金」はWEB申請で、手続きが簡単なので若い人にもぜひ使ってほしいです。「こんな事業でも通るの?」と気軽に聞いてください。楽しいアイデアをお待ちしています。